

## 概要

### 道路改築

八代地域は、九州縦貫自動車道・南九州西回り自動車道及び九州新幹線の高速交通体系の優位性を活かした「南九州の流通拠点づくり」を目指していますが、これらと有機的に連絡する国県道の道路網の整備を進めています。

また、観光・地域振興の観点からも重要な国道 219 号・445 号をはじめとする幹線道路の整備についても進めています。

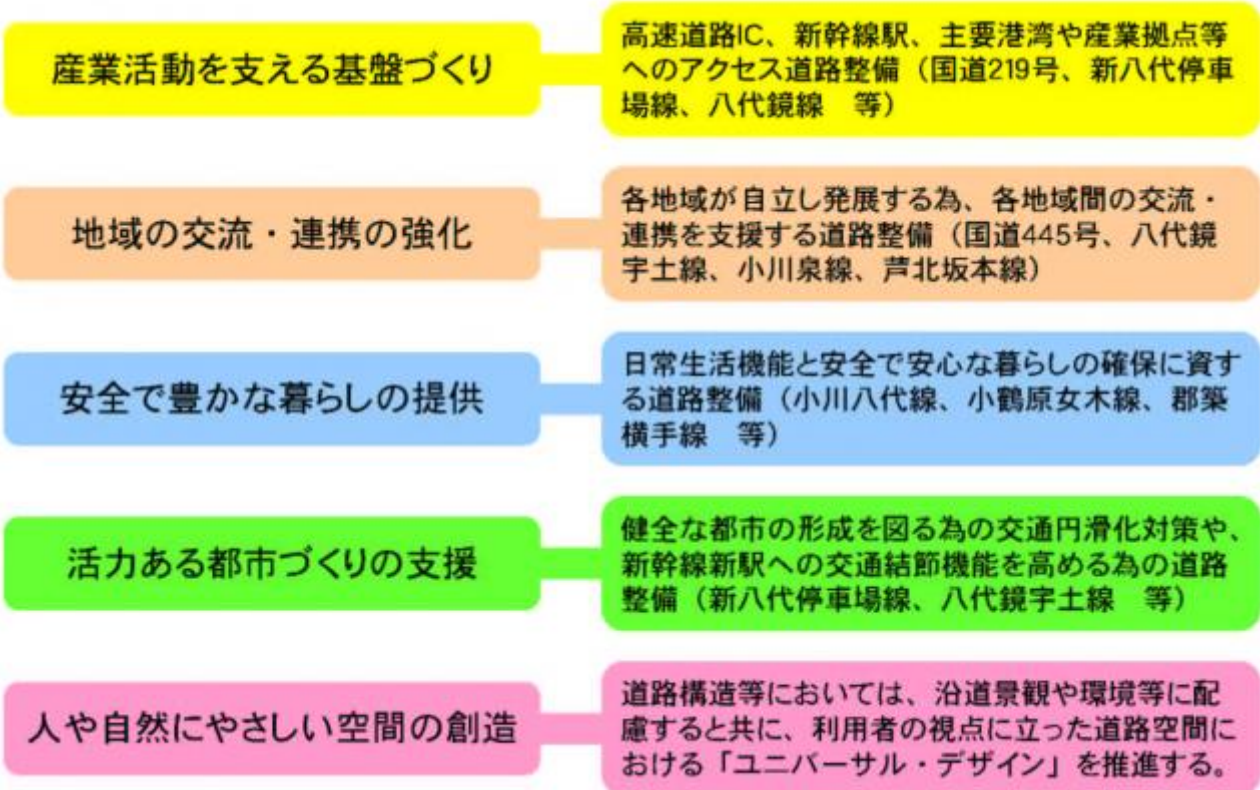
なお、少子高齢化を踏まえ、道路における「ユニバーサル・デザイン」を展開すると共に、生活者の視点に立って、日常生活における利便性の向上、安全の確保等に資する道づくりを進めます。



国道 445 号 五家荘バイパス(八代市泉町)



新八代停車場線(八代市西片町)



## 河川砂防

### 生命・財産を守る基礎づくり

県民の皆さんが安全・安心な生活ができるように自然災害を防止するための河川・砂防・海岸の整備を効率的・効果的に進めています。

### 避難体制の強化

水防法、土砂災害防止法に基づき浸水想定区域図の作成や土砂災害警戒区域等の指定を行うとともに、『洪水、高潮、土砂災害ハザードマップ等』の作成に取り組む市町村への支援を行います。



鏡川水門(八代市鏡町)



積の俣川砂防堰堤(八代市坂本町)

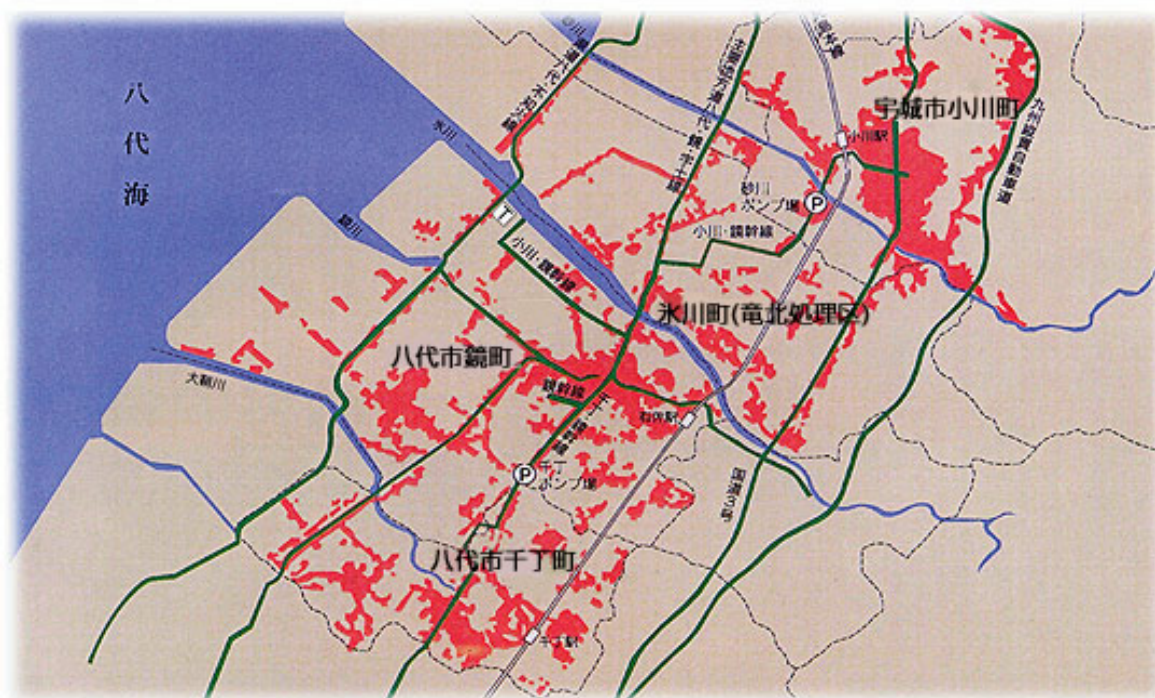
## 下水道

八代平野北部に位置する宇城市(小川町)・八代市(千丁町・鏡町)及び氷川町(竜北)からなる計画区域は、八代海に面しており、古くから干拓事業が行われ、全国でも有数のい草の生産地帯です。

また、八代海は、その周囲を宇土半島や天草諸島に囲まれ、多くの景勝地や好漁場にも恵まれています。

しかし、近年の生活様式の多様化や都市化に伴い、八代海をはじめとする公共用水域の水質汚濁が進行している状況にあり、下水道整備の要望が急速に高まる中、一体的に整備を行うことが水質保全・施設の建設維持管理の面から最も効率的であることから、平成7年度から2市1町にわたる1,130haを対象に事業着手し、平成14年1月に一部供用を開始した。(約290ha)引き続き平成26年の整備完了を目指し事業を進めています。

八代北部流域下水道概要図



処理区名	八代北部	処理場位置	八代市鏡町芝口地内
処理場名	八代北部浄化センター	全体計画	平成7年～26年
全体計 処理人口	51,000人	排除方式	分流式
全体計画処理面積	1,130ha	供用開始時期	平成14年1月10日
全体計画処理能力	26,700m <sup>3</sup> /日	水処理方式	標準活性汚泥法
幹線管渠延長	15km		
処理場敷地面積	4.2 a		
総事業費(流域)	190億円(H19事業認可時)		
対象市町村	宇城市小川町・八代市千丁町 八代市鏡町・氷川町(竜北処理区)		



## 港湾

八代港は、昭和 34 年に重要港湾に指定以降、臨海工業用地の造成等港湾機能の強化を進め、県内第 1 位の国際貿易港となっています。

平成 22 年 8 月には重点港湾に指定され、八代市を中心とする背後圏の生産・消費活動を支える流通拠点の形成や貨物量の増大・多様化、船舶の大型化等に対応していくため 5.5 万トン級の岸壁 などの整備に取り組んでいます。



公共ふ頭

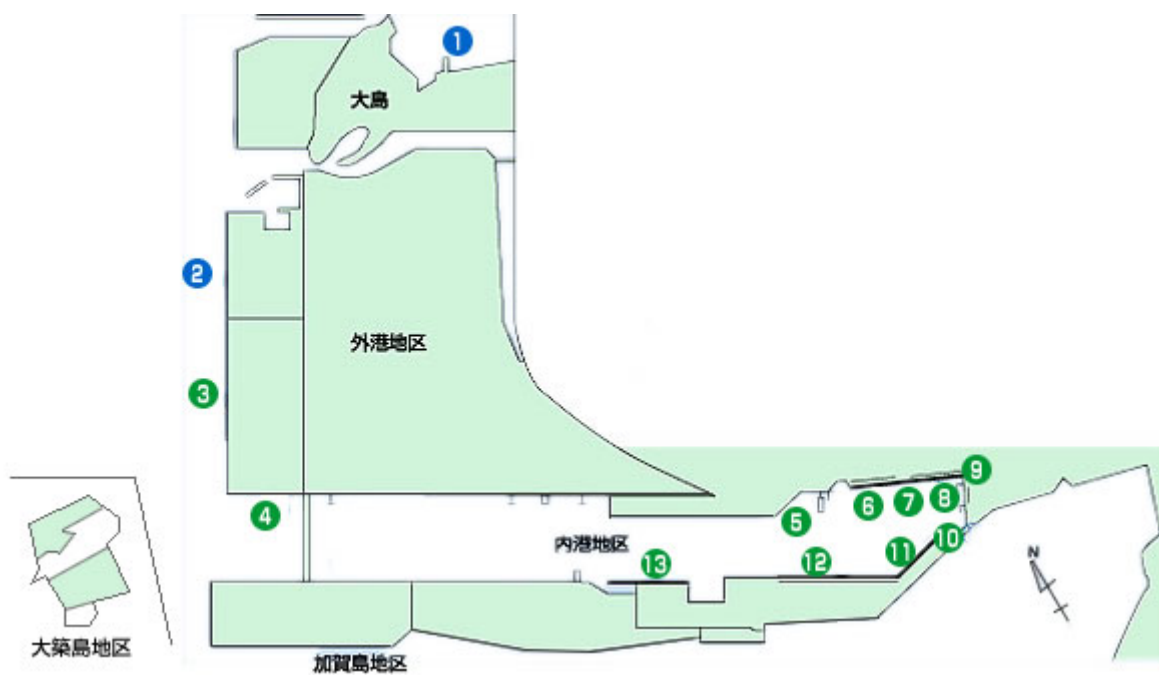
### 係留施設の概要

区別	地区		水深(m)	バース数	延長(m)主要取扱品目
新規計画	大島	①	-6.5	(ドルフィン)2	- 石油製品、重油、窯業者
	外港	②	※1-14.0	2	560 穀物、木材チップ、石炭
既設	外港	③	※2-10.0	4	725 原木、鉄鋼、コンテナ
		④	-9.0	1	165 セメント
			-7.5	2	260 金属くず、再利用資源

内港	⑤	-4.5	1	60 フェリー
	⑥	-4.5	4	240 飲料、金属くず、再利用資源
	⑦	-4.5	5	300 作業船
	⑧	-4.0	1	60 作業船
	⑨	-3.0	-	- 専用ドルフィン
	⑩	-4.5	-	- 専用ドルフィン
	⑪	-3.0	-	300 砂・砂利
	⑫	-5.5	8	720 セメント、鋼材
	⑬	-7.5	2	260 砂・砂利

※1(新規計画)外港地区-14m 岸壁は既存の-12m 岸壁を 2m 増深。

※2(既設)外港地区-10m 岸壁 1 バース(170m)は耐震強化岸壁として計画。



## 道路維持

### 施設

道路を良好な状態に維持し、安全で安心して通行できるように、計画的にパトロールを行い舗装の穴ぼこ補修、街路樹の剪定、除草、側溝整備等を実施しています。

また、歩道については、バリアフリーの観点から段差解消や視線誘導ブロック等を設置するとともに、狭小な幅員を解消し、広く、使いやすい歩行空間の確保に取り組んでいます。

さらに、交差点部での事故防止及び交通渋滞を解消するための交差点の改良や、道路利用者が快適に通行できるように道路情報等を提供しています。

なお、梅雨時期等における異常気象時事前通行規制や、地山崩壊、路肩決壊等による通行規制及び早期の交通開放に向けた災害復旧工事等を行っています。



八代鏡線(八代市北の丸町)



国道 443 号(氷川町宮原)

### 防災

八代市日奈久町から東陽町を経て泉町に至る山間部は、仏像構造線と中央構造線の延長上に挟まれた破碎帯であるため、落石や崩壊が起りやすい地質となっています。

このため、防災点検(平成 8~9 年度実施)において、対策が必要(584箇所)と判断された国道や県道沿いの斜面について、危険度の高い箇所から順次対策工事を実施しています。

また、県が管理している橋梁について、平成 23 年度に「橋梁の長寿命化修繕計画」を策定し、橋桁や支承等の損傷が小さなうちに計画的に補修(予防保全)を行い、橋梁の延命化及び、地域道路網の安全性・信頼性の確保に取り組んでいます。



橋梁補修

国道 445 号 五家莊橋(八代市泉町)



災害防除

国道 445 号(八代市泉町)

